



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 中外炉工業株式会社  
 コード番号 1964 URL <https://chugai.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 彰  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部長 (氏名) 南場 賢一郎  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6221-1251

配当支払開始予定日 2020年6月25日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	38,090	2.7	1,711	73.3	1,875	62.0	1,120	48.5
2019年3月期	37,090	20.3	987	16.4	1,157	10.1	754	12.7

(注) 包括利益 2020年3月期 213百万円 (49.7%) 2019年3月期 425百万円 (68.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	145.97		5.4	4.2	4.5
2019年3月期	97.31		3.6	2.8	2.7

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	46,696	20,687	44.1	2,681.62
2019年3月期	42,731	20,955	48.9	2,718.52

(参考) 自己資本 2020年3月期 20,589百万円 2019年3月期 20,874百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	580	442	4,510	8,625
2019年3月期	1,348	478	279	5,137

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期				60.00	60.00	460	61.7	2.2
2020年3月期				60.00	60.00	460	41.1	2.2
2021年3月期(予想)								

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を現時点において算定することが困難であることから未定としております。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	7,800,000 株	2019年3月期	7,800,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	121,911 株	2019年3月期	121,287 株
期中平均株式数	2020年3月期	7,678,395 株	2019年3月期	7,758,053 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	34,373	4.7	1,306	130.8	1,610	72.3	958	48.9
2019年3月期	32,822	19.1	566	34.5	935	15.3	643	21.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	124.86	
2019年3月期	82.98	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	44,369		19,878		44.8		2,588.99	
2019年3月期	40,383		20,181		50.0		2,628.27	

(参考) 自己資本 2020年3月期 19,878百万円 2019年3月期 20,181百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12
4. その他 .....	13
(1) 受注及び販売の状況 .....	13
(2) 役員の変動 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米中貿易摩擦長期化の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、景気の停滞感が急速に強まり、先行きは極めて不透明な状況となりました。

わが国においても、世界経済減速の影響から、輸出・生産が弱まっていることに加え、年明けからの新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う人の移動制限や経済活動の停止により、非常に厳しい状況となっております。

当社グループの関連する市場のうち、鉄鋼業界では鋼材市況の低迷や需要の減少を背景に設備投資圧縮など粗鋼生産能力削減の動きが見られました。自動車業界においても、世界規模での生産台数減少により、設備投資に慎重な態度が続きました。一方、ディスプレイ業界では、高級スマートフォンの有機ELシフトがさらに進んだものの、中小型フレキシブル有機ELパネル市場の需要停滞により、設備投資抑制の傾向が見られました。

このような経営環境のもと、当社グループは業績確保に向けて積極的な受注活動を展開し、中国向けステンレス製造設備や中国向けフレキシブルディスプレイ関連精密塗工装置などの成約を得ましたが、前期のような大型案件が少なく、受注高は前期比57.8%の23,987百万円に留まりました。

売上面につきましては、鉄鋼向け省エネ型加熱炉などの工事が進捗し、売上高は前期比102.7%の38,090百万円となりました。

利益面につきましては、増収効果に加え、原価率の改善もあり、営業利益1,711百万円（前期比173.3%）、経常利益1,875百万円（前期比162.0%）とそれぞれ増益となりました。また、情報・通信分野の固定資産の減損処理を行い、親会社株主に帰属する当期純利益は1,120百万円（前期比148.5%）となりました。

各分野別の概況は次のとおりです。

#### （エネルギー分野）

受注面では、中国向けステンレス製造設備や台湾向け省エネ型鉄鋼加熱炉のほか、鉄鋼向け排ガス処理設備や自動車部品熱処理設備などの成約を得ましたが、前期のような大型案件が少なく、受注高は17,260百万円（前期比49.8%）に留まりました。

一方、売上面では、高級特殊鋼板連続焼鈍ラインや自動車部品熱処理設備、線材コイル連続焼鈍設備などを納入したほか、銅ストリップ連続焼鈍ラインや鉄鋼向け省エネ型加熱炉、金属ストリップ連続ゴムコーティングラインなどの工事が進捗し、売上高は31,757百万円（前期比114.9%）と増加しました。

#### （情報・通信分野）

受注面では、中国向けフレキシブルディスプレイ関連精密塗工装置などの成約を得ましたが、下半期は中国における新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による投資時期の先送りや商談の中断などが相次ぎ、受注高は1,942百万円（前比69.2%）に留まりました。

売上面では、ベトナム向け薄板ガラス用熱処理設備改造工事や国内向けフレキシブルディスプレイ関連オープンなどの納入に加え、中国向けフレキシブルディスプレイ関連精密塗工装置などの工事が進捗しましたが、期初受注残高が少なかったこともあり、売上高は2,494百万円（前期比70.9%）に留まりました。

#### （環境保全分野）

受注面では、蓄熱式排ガス処理装置のほか、活性コークス用ロータリーキルンなどの成約を得て、受注高は2,468百万円（前期比106.8%）となりました。

売上面では、蓄熱式排ガス処理装置や活性炭用ロータリーキルンなどを納入しましたが、期初受注残高が少なかったこともあり、売上高は2,124百万円（前期比49.5%）に留まりました。

#### （その他）

受注面では、海外子会社において、中国向けステンレス製造設備用機器やモータコア焼鈍炉などの成約を得て、受注高は4,602百万円（前期比126.9%）と増加しました。

売上面では、中国向け自動車部品用熱処理設備などを納入し、売上高は3,971百万円（前期比100.2%）となりました。

なお、セグメント別の受注高及び売上高はセグメント間取引相殺消去前の金額によっております。

## (2) 当期の財政状態の概況

資産合計は現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加などにより、前期末比3,965百万円増加の46,696百万円となりました。

負債合計は短期借入金の増加などにより、前期末比4,233百万円増加の26,008百万円となりました。

純資産合計は利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金の減少などにより、前期末比268百万円減少の20,687百万円となり、自己資本比率は44.1%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益を計上したものの、売上債権の増加などにより580百万円の資金の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産や投資有価証券の取得による支出などにより、442百万円の資金の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払はありましたが、短期借入金の増加などにより、4,510百万円の資金の増加となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は、3,488百万円増加の8,625百万円となりました。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大に終息が見えず、景気回復には相当な期間を要するものと思われまます。

当面は、ウイルス感染発生の未然防止に努めるため、出張を自粛し、在宅勤務を導入するなど、厳しい事業環境ではありますが、当社グループは、4月よりの新体制の下、省エネ、CO<sub>2</sub>削減、再生可能エネルギー関連設備などで持続可能な社会の実現に貢献すべく、技術力・開発力と人材育成の強化を進めてまいります。

また、製造業のものづくりに不可欠な「熟技術」を、環境、低炭素、省人化、AI・IoTの活用や自動車の電動化・軽量化といった社会の要請に合わせてさらに進化させるとともに、納入設備のライフサイクルに合わせたメンテナンス体制の拡充を継続し、収益基盤を構築してまいります。

なお、2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を現時点において算定することが困難であることから未定としております。業績予想につきましては、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準を適用しております。

IFRSの適用につきましては、わが国における制度適用の状況等を考慮の上、適切に対応していく方針です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,169	8,658
受取手形及び売掛金	25,147	26,941
未成工事支出金等	1,600	1,619
その他	172	109
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	32,082	37,320
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,123	6,132
減価償却累計額	△4,286	△4,387
建物及び構築物 (純額)	1,837	1,745
機械装置及び運搬具	2,080	1,916
減価償却累計額	△1,726	△1,598
機械装置及び運搬具 (純額)	354	317
土地	2,090	2,090
建設仮勘定	151	166
その他	1,148	1,130
減価償却累計額	△859	△912
その他 (純額)	288	218
有形固定資産合計	4,721	4,538
無形固定資産	156	149
投資その他の資産		
投資有価証券	5,310	4,336
退職給付に係る資産	215	46
繰延税金資産	3	5
その他	283	325
貸倒引当金	△41	△27
投資その他の資産合計	5,770	4,687
固定資産合計	10,648	9,375
資産合計	42,731	46,696

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
電子記録債務	1,855	2,088
買掛金	11,166	10,545
短期借入金	3,807	9,300
未払法人税等	372	169
未成工事受入金	650	754
賞与引当金	291	289
工事損失引当金	0	0
その他	1,455	1,310
流動負債合計	19,600	24,457
固定負債		
長期借入金	1,188	688
繰延税金負債	690	570
退職給付に係る負債	171	170
その他	125	121
固定負債合計	2,175	1,551
負債合計	21,775	26,008
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,176	6,176
資本剰余金	1,544	1,544
利益剰余金	11,649	12,309
自己株式	△251	△252
株主資本合計	19,118	19,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,732	934
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	28	24
退職給付に係る調整累計額	△7	△147
その他の包括利益累計額合計	1,756	812
非支配株主持分	80	98
純資産合計	20,955	20,687
負債純資産合計	42,731	46,696

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	37,090	38,090
売上原価	31,898	31,787
売上総利益	5,191	6,302
販売費及び一般管理費	4,204	4,591
営業利益	987	1,711
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	156	157
受取賃貸料	48	57
雑収入	15	21
営業外収益合計	222	237
営業外費用		
支払利息	31	54
為替差損	4	12
雑損失	16	6
営業外費用合計	52	73
経常利益	1,157	1,875
特別利益		
投資有価証券売却益	19	-
特別利益合計	19	-
特別損失		
減損損失	-	123
投資有価証券評価損	-	51
特別損失合計	-	174
税金等調整前当期純利益	1,177	1,701
法人税、住民税及び事業税	497	331
法人税等調整額	△101	211
法人税等合計	395	542
当期純利益	781	1,158
非支配株主に帰属する当期純利益	26	37
親会社株主に帰属する当期純利益	754	1,120



## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	781	1,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△334	△797
繰延ヘッジ損益	4	△2
為替換算調整勘定	△28	△5
退職給付に係る調整額	1	△139
その他の包括利益合計	△356	△944
包括利益	425	213
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	403	176
非支配株主に係る包括利益	21	37

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,176	1,544	11,361	△52	19,030
当期変動額					
剰余金の配当			△466		△466
親会社株主に帰属する当期純利益			754		754
自己株式の取得				△199	△199
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	288	△199	88
当期末残高	6,176	1,544	11,649	△251	19,118

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,066	△1	52	△9	2,107	98	21,236
当期変動額							
剰余金の配当							△466
親会社株主に帰属する当期純利益							754
自己株式の取得							△199
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△334	4	△23	1	△351	△17	△369
当期変動額合計	△334	4	△23	1	△351	△17	△280
当期末残高	1,732	2	28	△7	1,756	80	20,955

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,176	1,544	11,649	△251	19,118
当期変動額					
剰余金の配当			△460		△460
親会社株主に帰属する当期純利益			1,120		1,120
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	660	△1	659
当期末残高	6,176	1,544	12,309	△252	19,777

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,732	2	28	△7	1,756	80	20,955
当期変動額							
剰余金の配当							△460
親会社株主に帰属する当期純利益							1,120
自己株式の取得							△1
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△797	△2	△4	△139	△944	17	△926
当期変動額合計	△797	△2	△4	△139	△944	17	△267
当期末残高	934	0	24	△147	812	98	20,687

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,177	1,701
減価償却費	391	368
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△13
退職給付に係る負債及び退職給付に係る資産の増減額	11	△21
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△158	△159
支払利息	31	54
投資有価証券売却損益 (△は益)	△19	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	51
減損損失	-	123
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,185	△1,801
未成工事支出金等の増減額 (△は増加)	△206	△22
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,845	△385
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△1,060	111
その他	104	△147
小計	△1,069	△141
利息及び配当金の受取額	158	159
利息の支払額	△31	△55
法人税等の支払額	△406	△542
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,348	△580
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△377	△195
無形固定資産の取得による支出	△79	△49
有価証券の償還による収入	100	-
投資有価証券の売却による収入	43	7
投資有価証券の取得による支出	△165	△154
その他	0	△51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△478	△442
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	985	4,992
長期借入れによる収入	400	400
長期借入金の返済による支出	△400	△400
配当金の支払額	△466	△460
非支配株主への配当金の支払額	△39	△19
自己株式の取得による支出	△199	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	279	4,510
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,587	3,488
現金及び現金同等物の期首残高	6,724	5,137
現金及び現金同等物の期末残高	5,137	8,625

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、その構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び子会社中外エンジニアリング㈱は、エネルギー分野（主に鉄鋼、自動車、非鉄金属、太陽電池製造関連）、情報・通信分野（主に精密塗工関連）、環境保全分野（主に大気浄化、廃棄物処理・リサイクル、バイオマス利用関連）の3分野の別に事業部等を設置し、事業活動を展開しております。従って、これらの3分野を報告セグメントとしております。なお、その他の子会社の事業につきましては「その他」に含めております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	エネルギー分野	情報・通信分野	環境保全分野	計				
売上高								
外部顧客への売上高	27,116	3,496	3,905	34,519	2,570	37,090	—	37,090
セグメント間の内部売上高又は振替高	522	19	386	928	1,393	2,322	△2,322	—
計	27,639	3,516	4,291	35,447	3,964	39,412	△2,322	37,090
セグメント利益又は損失(△)	879	△259	140	760	197	957	30	987

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	エネルギー分野	情報・通信分野	環境保全分野	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,404	2,494	1,905	35,804	2,285	38,090	—	38,090
セグメント間の内部売上高又は振替高	353	—	218	572	1,686	2,258	△2,258	—
計	31,757	2,494	2,124	36,377	3,971	40,348	△2,258	38,090
セグメント利益又は損失(△)	1,775	△379	10	1,406	250	1,656	54	1,711

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	2,718.52円	2,681.62円
1株当たり当期純利益	97.31円	145.97円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	754	1,120
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	754	1,120
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,758	7,678

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 受注及び販売の状況

①売上高

(単位：百万円)

部 門	前連結会計年度 2018年4月～2019年3月		当連結会計年度 2019年4月～2020年3月		増減
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額
エネルギー	27,639	74.5	31,757	83.4	4,118
情報・通信	3,516	9.5	2,494	6.5	△1,022
環境保全	4,291	11.6	2,124	5.6	△2,167
その他	3,964	10.7	3,971	10.4	7
相殺消去	△2,322	△6.3	△2,258	△5.9	64
合 計	37,090	100.0	38,090	100.0	1,000
(うち、海外)	(8,188)	(22.1)	(5,927)	(15.6)	(△2,261)

②受注高

(単位：百万円)

部 門	前連結会計年度 2018年4月～2019年3月		当連結会計年度 2019年4月～2020年3月		増減
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額
エネルギー	34,676	83.6	17,260	71.9	△17,416
情報・通信	2,804	6.8	1,942	8.1	△862
環境保全	2,311	5.6	2,468	10.3	157
その他	3,625	8.7	4,602	19.2	977
相殺消去	△1,928	△4.7	△2,286	△9.5	△358
合 計	41,489	100.0	23,987	100.0	△17,502
(うち、海外)	(6,839)	(16.5)	(6,619)	(27.6)	(△220)

③受注残高

(単位：百万円)

部 門	前連結会計年度 2018年4月～2019年3月		当連結会計年度 2019年4月～2020年3月		増減
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額
エネルギー	27,552	88.0	13,036	75.7	△14,516
情報・通信	1,257	4.0	724	4.2	△533
環境保全	899	2.9	1,243	7.2	344
その他	2,004	6.4	2,638	15.3	634
相殺消去	△391	△1.3	△418	△2.4	△27
合 計	31,322	100.0	17,223	100.0	△14,099
(うち、海外)	(3,547)	(11.3)	(4,244)	(24.6)	(697)

(2) 役員の変動

2020年6月24日付

・新任取締役候補者

取 締 役      長 濱      満      [現 常務執行役員 熱処理事業本部長、  
中外プラント株式会社代表取締役]